

パンフレット番号	問合せ先	電話番号
20273-214	株式会社クイックパック	0564-59-3525

美術工芸品と呼ぶにふさわしい伝統技法

大倉陶園では、東洋になかった欧州の優れた白生地製の製法・装飾技法を学び、さらに日本の伝統ある技法を取り入れて、独自の表現を追及しています。ここに挙げる技法は、その代表的なものとして作品に活かされています。

岡染 おかぞめ

大倉陶園独特の技法です。本焼した白生地の上に油で溶いたコバルト質絵具で絵を描き、再度1,460℃を越える高温での本焼窯で焼成する。コバルトの青い色はうわぐすりの中に沈み込み、柔らかく、深みのある紺青の“ぼら”が完成する。“ブルーローズ”は岡染技法の代表的な作品です。

※全ての商品が手描きではありません。



ブルーローズ
55H/8011
20cm ケーキ皿
¥18,900 (本体 ¥18,000)
52C/8011
カップ&ソーサー
¥34,650 (本体 ¥33,000)
145cc



3H/8011A
20cm ケーキ皿
¥6,825 (本体 ¥6,500)



6C/8011
カップ&ソーサー
¥10,500 (本体 ¥10,000)
190cc



114C/8011A
マグ
¥7,875 (本体 ¥7,500)
114CR/8011A
マグペア
¥15,750 (本体 ¥15,000)
330cc



107C/8211
マグ
¥6,825 (本体 ¥6,500)
107CR/8211
マグペア
¥13,650 (本体 ¥13,000)
310cc

金蝕 きんしょく

“きんくさらし”“エッチング”とも言う。白生地に模様をマスキングし、その上からサンドを吹き付けると、保護されていない部分の釉面は彫り込まれる。金を施して絵窯で焼成すると、保護されていた釉面の金は光沢があり、サンドの吹付けられた釉面の金は光沢がなく、焼き上がった金の面に模様が浮き上がってくる。



金蝕バラ
3H/2016
20cm ケーキ皿
¥13,650 (本体 ¥13,000)
1C/2016
カップ&ソーサー
¥21,000 (本体 ¥20,000)
225cc



94H/2016
耳付き大皿
¥31,500 (本体 ¥30,000)



1H/2016
26cm プレート
¥21,000 (本体 ¥20,000)



71B/2016
小型ポット
¥42,000 (本体 ¥40,000)
740cc



57C/2016
コーヒー碗皿
¥17,850 (本体 ¥17,000)
165cc